

# 新|潟|県|看|護|協|会

## 新潟西支部だより

【編集発行】  
新潟県看護協会  
新潟西支部  
広報委員会

第10号  
2019年3月発行



新潟県看護協会新潟西支部  
支部長 古俣 ひろみ



新潟西支部  
シンボルマーク

### ごあいさつ

新潟西支部支部長をさせていただいております古俣ひろみです。(社会福祉法人 恩賜財団 済生会新潟第二病院所属)

新潟西支部の会員の皆様には、日頃より当支部の事業活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。感謝申し上げます。

2019年度も会員の皆様に社会や医療界の状況を知っていただき、会員の方々がよりよい環境で仕事ができるよう活動をすすめていきたいと考えております。去年は特にマンパワーの確保(会員確保活動)、高齢社会に対応出来る『地域包括ケア』に役立つ研修会開催等に尽力してまいりました。今年度もこの方向は変わりませんが、更にブラッシュアップしたものを提供できるように、役員一同奮闘しております。

これからも新潟西支部活動へのご支援ご協力の程、宜しくお願いいたします。

2019年2月 新潟県看護協会新潟西支部支部長 古俣 ひろみ

### <支部役員一同>



# 新潟県看護協会 新潟東支部・新潟西支部・新潟市主催 三職能合同研修会の報告

岩室リハビリテーション病院 三輪 英子

2018年10月6日（土）万代市民会館 6階多目的ホールで、新潟県看護協会東支部・西支部・新潟市の合同主催による職能研修会を開催致しました。

講師に保健学博士・健康社会学者・ヘルスコミュニケーションスペシャリストで㈱グローバルヘルスコミュニケーションズ代表取締役の蛭名玲子先生をお迎えし「元気な現場をつくるヘルスコミュニケーション ～Sense of Coherence, SOCの視点から」をテーマに講演をして頂きました。

SOCとは、辛い体験をしても健康な大人になれた人はSOC（首尾一貫感覚）が高く、このSOCは3つの感覚、分かる感（認知する力）できる感（行動する力）やるぞ感（動機づける力）を高める事が重要で、SOCが上がると自然と元気な職場になっていくそうです。研修では具体例やゲームを交えながら楽しく学べ、職場の元気力UPに役立つ内容でした。



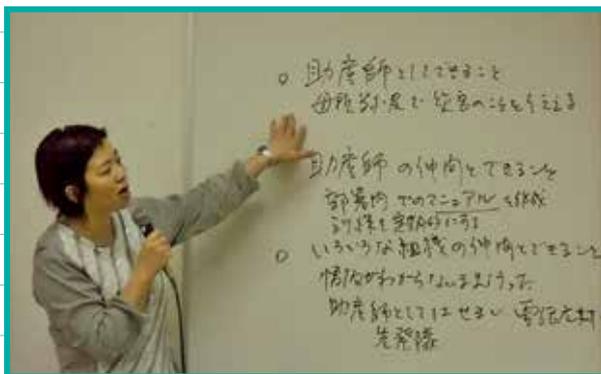
## 助産師職能研修会報告

済生会新潟第二病院  
津端 由香

平成30年9月26日（土）新潟ユニゾンプラザにて、東・佐渡地区と合同で研修会を開催しました。

新潟県立大学 野口祐子先生を講師にお迎えし、「災害時に助産師としてできること」をテーマにグループワークを交えて御講演いただきました。

野口先生は柏崎市で保健師として在職中に中越地震や新潟・福島豪雨を経験されました。災害支援の体験をもとに、保健師・助産師の立場から現場での災害時の支援システムや災害看護サイクルに合わせた助産師活動について講義されました。



また、グループワークでは、自分自身・職場での災害時の備えについて考え、助産師としてできることや各施設でできることについて意見交換をしました。

防災マニュアルの見直しや災害時の対応について再確認し、職場への取り組みとして役立てたいという意見が多く寄せられ有意義な研修となりました。

## 新潟市西区役所 健康福祉課



保健師 松井 頌子

新潟市西区役所には、保健師23人、看護師2人、准看護師1人、栄養士1人、作業療法士1人、歯科衛生士1人がおり、住民がより健康で過ごせるよう、日々活動をしています。ここで西区役所の取り組みを紹介させていただきます。

新潟市は政令市の中で胃がんや脳血管疾患が原因で亡くなる方が多く、平均寿命は長いですが、健康でない期間も長いという特徴があります。また西区は、特定健診の結果血圧、脂質、血糖の3項目が保健指導判定値以上の方が市の平均より多いという特徴があります。そこで西区では血圧、脂質、血糖が高い人を対象に健康相談や動脈硬化予防教室を実施したり、減塩をテーマに学校や地域の茶の間などで健康教育を行っています。

今後とも、病院をはじめ関係機関の皆様との連携を図っていきたいと思いますので、いつでもご連絡いただきたいと思います。



西区区づくり事業  
ウォーキング講座



西区の健康状況パネル展示



# 医療法人社団 健進会 新津医療センター病院



## 鈴木 多津子

当院は、新潟市秋葉区に昭和58年開院し、内科、整形外科、外科の診療科を中心とした174床の中規模病院です。地域に密着、貢献できる医療をめざし職員一同取り組んでいます。

看護部も質の高い看護を提供するために、日々努力していますが、看護師不足という大きな課題があります。そのための取り組みの一つを紹介します。

一昨年秋、同時期に2名の退職願いがありました。理由は「里帰り出産」のためでした。出産支援のための長期休暇が認められず、退職しなければならない現状がありました。

看護部を中心とした働き掛けで、遠慮なく休暇が取れるよう「子女の里帰り出産支援休暇制度」の制定がありました。制度利用者は5名となり、出産支援による退職者は「0」になりました。



### 利用者の声

- \*初めての出産、初めての孫だったので、そばにいらることができ、お互いが安心できました。
- \*仕事は続けられないと思っていましたが、この制度を利用することで、今も仕事ができていることに幸せを感じています。



# 活動紹介



南部郷厚生病院

高橋 裕子

岩室リハビリテーション病院

三輪 英子

白根大通病院

高橋 生亥子

今年度、看護協会西支部は「看護協会会員アップ推進プロジェクト」を立ち上げて活動しました。

具体的な活動としては、研修会の受付に、協会に入会するメリットが書かれたポスターを貼り、更にパンフレットを配布し勧誘を行いました。

またこれから看護師になる、看護学生にも協会員になる意義を伝える目的で、看護学校へ出向き、お話をさせてもらいました。

おかげ様で、看護協会西支部の会員数はH31年2月時点で、2405名となりました。



## 平成31年度新潟県看護協会新潟西支部 通常集会および講演会案内

- 日時 2019年6月21日(金) 13時15分～16時
- 場所 日本看護協会総会報告  
平成30年度役員会報告  
委員会報告
- 議案 平成30年度事業計画(案)について  
平成30年度収支決算報告(案)について  
平成31年度事業計画(案)について  
平成31年度事業予算(案)について
- 講演会  
講師 田中 晋 先生  
テーマ 認知症とともに生きる ～認知症の対応と予防～

# 認知症とともに生きる

## ～認知症の対応と予防～

**入場無料** お申込み不要です  
一般の方大歓迎

日時

2019年6月21日(金)

14:30～16:00

\*一般の方は14:15～受付です

会場

新潟ユニゾンプラザ  
4階 大会議室

講師 **田中 晋 先生**

(特定医療法人楽山会 三島病院 精神科部長)

〈田中晋先生 略歴〉

- ・現在 三島病院 精神科部長 兼 認知症疾患医療センター副センター長
- ・1996年(平成8年)琉球大学医学部医学科卒業
- ・2003年(平成15年)琉球大学大学院医学研究科生体制御系専攻修了
- ・以後杏林大学付属病院、国立精神神経センター武蔵病院勤務を経て、2009年(平成21年)特定医療法人楽山会 三島病院に勤務し、現在に至る。

【資格】 ・精神保健指定医 ・日本認知症学会 認定専門医・指導医 ・日本精神神経学会  
・精神科専門医 ・日本てんかん学会専門医 ・日本老年精神医学会専門医

【所属学会】 ・日本精神神経学会 ・日本老年精神医学会 ・日本認知症学会 ・日本てんかん学会

専門は認知症とてんかん



■主催 公益社団法人 新潟県看護協会 新潟西支部

■問い合わせ 社会福祉法人 恩賜財団済生会 済生会新潟病院  
古俣ひろみ TEL: 025-233-6161(代)

〈新潟県看護協会新潟西支部〉 平成31年2月現在

● 会員施設総数 **74**施設

● 会員総数 **2405**名 (会員数 **2310**名 個人会員 **95**名)